



五月三十一日(月)、うちこ福祉館運営審議会を開催し、昨年度の事業実施報告や今年度の事業計画(案)について熱心に審議していただき、全て承認されました。新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、工夫しながら各事業や人権啓発等を実施していきます。

運営審議会



令和3年
7月発行
電話・FAX
44-3410

利用再開しました

六月一日(火)より、福祉館の利用を再開しました。水分補給以外の飲食を伴う利用の中止など、一部の制限は当面の間継続しますが、感染対策をしていただきながら、概ね従来通りにご利用いただけます。

【お願い】利用される際には、可能な範囲で屋内用の履物(スリッパ等)を持参していただきますようお願いいたします。

押花作品展示

六月一日(火)からの一か月間、内子町図書館情報館二階で開催された押花展示に、押花教室の皆さんの作品も出展しました。



コロナ禍での熱中症予防

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために「新しい生活様式」として、①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや「三密(密集、密接、密閉)」を避ける等の対策の実践が求められています。夏を迎えるにあたり、熱中症にもご注意ください。まずようお願いいたします。

●マスクの着用

高温や多湿などの環境下でのマスク着用は熱中症のリスクが高くなる恐れがあるので、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合にはマスクをはずしたり、こまめな水分補給を心がけましょう。

●エアコンの使用

新型コロナウイルス対策のためには冷房時でも窓開放や換気扇で換気しましょう。換気により室内温度が高くなりがちなので、温度設定を下げるなどの調整をしましょう。

●涼しい場所への移動

少しでも体調に異変を感じたら、速やかに涼しい場所や、屋外でも日陰や風通しの良い場所に移動してください。

緑のカーテン成長中



ツルが上まで伸びれば、室内に降り注ぐ日差しも和らいでくるので、室温上昇を緩やかにしたり空調の効きが良くなることが期待されます。

プランターも鮮やか



駐車場のまわりでも風に揺られながら沢山の花が咲いています。

内子町人権・
同和教育担当者会



六月三日(木)、第一回目となる内子町人権・同和教育担当者会が開催され、うちこ福祉館からは館長と職員の名が参加しました。今年度から、人権・同和教育の各種大会で活動実践報告を予定されている先生方を中心とした事前研修の形式を取り入れる試みが始まりました。福祉館にとっては、各学校で実践されている人権・同和教育や、児童・生徒との関わりなどを知ることが出来る貴重な機会です。学んだことを皆さんへ繋いでいけるよう、今後も積極的に参加し学習を深めたいと考えております。

内子高等学校小田分校 様



昨年、第12回福祉館まつり「思いやりの花を広げよう」で配布した花の種ですが、前号に続いて皆さんから送っていただいた写真をご紹介します。ぜひご覧ください。

みやおか たみこ
宮岡 民子 様



「花をみて心が和むような、あたたかな気持ちが広がってほしい」
「笑顔の花も一緒に咲かせてほしい」
「種が採取できたら次へ、その次へと、花とともに思いやりの心も広げていきましょう」
…そんな願いや思いを込めています。



うちこ福祉館



うつのみや
宇都宮 様

皆さま、大切に育てていただき、ありがとうございます。

思いやりの「花」と「心」
届いています(その二)

愛媛県隣保館連絡協議会
議会女性部会研修会

五月十四日(金)午後、女性部会研修会がリモート開催され、職員全員が参加しました。研修会では、愛媛県在住の市民有志で「ちよびっと19+」を結成し、「シトラスリボンプロジェクト」を展開されている、松山大学法学部准教授 甲斐明香さんが、「ただいま」おかえり「っていいあえるまちを目指して」と題し、講演していただきました。
甲斐さんは、コロナ禍の差別や偏見は感染者だけに向けられたものではないことや、「おかえり」だけでは自分は大丈夫という安全なところからの視線ではないか、いつ自分も当事者になるか分からないから「ただいま」も必要だと、当事者目線の大切さを話されました。
また、コロナ関連差別に限らず優しい地域社会づくりへ、シトラスリボンなどが無くても人と人が優しくなれる町になっ
てほしいと話されました。

